

第 10 回 市民と議会の意見交換会（要旨）

【厚生環境常任委員会】

- 1 開催日 令和 7 年 5 月 25 日（日曜日）
- 2 会場 市役所全員協議会室
- 3 議題（テーマ）（1）医療・介護予防福祉について
（2）妊産婦・乳幼児の環境づくりについて
（3）未就学児の遊び場について
- 4 議員 5 名
羽田野孝子、坂上隆夫、森本将司、小野徳重、渡辺栄六

【午前の部】 参加者 3 名

意見交換内容（主な発言）

○参加者

保育園が解放されているが、話すのが苦手で最初は行きづらかった。ある園では 2 か月児から行ける。

⇒議員

行きにくい理由は何か。ほんと HOT 中条では土曜日、日曜日でも開放している。

○参加者

グループができていて入りにくい面もある。

○参加者

この会に参加者が少なくてびっくりしている。もっと集まってほしい。

介護報酬が減らされ、ヘルパー事業所の運営が難しいと報道されている。村上市では訪問介護報酬の差額を補填したが、市の実情はどうなっているか。

⇒議員

市の訪問介護は社協と愛広苑で実施している。ヘルパーの補充に困っているが、訪問介護事業は継続していける状態であると聞いている。

○参加者

市内には子どもの大きい遊び場がないので作ってほしい。滑り台を置いている場所もあるが小さい子は登れない。樽ヶ橋遊園は有料なので、新発田市の五十公野公園、関川村の道の駅へ連れて行っている。

⇒議 員

4年後（※令和11年の供用開始を目指す）に計画している生涯学習施設には、屋内と屋外に遊ぶ場所を設置する予定である。

○参加者

町内で通いの場、サロンを開催している。参加者が少なくなったが、年寄りが元気でいられればいいと思い、続けている。行事のために社協のマイクロバスを借りたいが、運転手が見つからない。

⇒議 員

通いの場やサロンを継続していくには魅力ある内容が大切になる。社協やぶれすぽ胎内で講師を派遣しているので活用しては。運転手は不足していると聞いている。

⇒議 員

村上病院は産科を止めたが、妊婦は困っていないか。

○参加者

関塚医院で2人出産した。3人目は関塚医院が混んでいて新発田病院を紹介された。

○参加者

市の会計年度任用職員が多いのは問題だと思う。正職員として雇用すべきではないか。

○参加者

築地小学校の「わくわくスクール」は誰もが行けるので増やしてほしい。「なかよしクラブ」は家で面倒を見る人がいれば行けないことになっている。

【午後の部】 参加者 1名

意見交換内容（主な発言）

○参加者

知り合いから、家族が施設に入所しているが1か月15万円、クリーニング代1万円含めて支払っており高く困ると聞いた。安くないか。

⇒議員

老健施設入所費は概ね1か月13万円と聞いている。市の介護保険財政からは1か月約28万円支払っている。合計1か月41万円で生活することになる。国・県・市は在宅介護を進めていきたいとの方針になっている。

○参加者

知り合いは子どもが結婚する気がなくて困ると言っている。1人暮らしがしたいと家を出ていったという。

認知症予防も大事で3人に1人になると聞いた。カラオケがいいと言う。気を付けていきたい。

⇒議員

医療についてはどうか。

○参加者

上手な医師の所は混んでいる。坂町病院も大事だし、中条中央病院も充実させてもらいたい。

（※）については、意見交換会終了後に確認したものです。